

令和3年 春期釜利谷地区推進連絡会

1 日時

令和3年3月29日（月） 17:00～18:30

2 場所

釜利谷地区センター 中小会議室

3 参加者

（地域側）自治会等地域団体関係 25名

（支援チーム、その他行政側）

区役所 5名

区社会福祉協議会、地域ケアプラザ 2名

4 釜利谷地区地域福祉保健計画について

（1）第3期 令和2年度振返り【会長】

ほとんどの事業がコロナ禍の影響で実施できなかったが、シニアクラブのラジオ体操等や民生委員の高齢者見守りは電話やメールなど工夫しながら実施することが出来た。

（2）第4期計画について【各部会報告】

○保健活動推進委員会

地域の人たちは事業の再開を待ち望んでいて「次はいつ開催されるのか」と言われる。体幹トレーニングなど男性参加者が多かったので実施したい。

○シニアクラブ

高齢化が進む中で今後認知症の問題が大きくなると思う。一人暮らしや引きこもりの高齢者を連れ出す事業を行いたい。

釜利谷第2支部は7つの部会があり、屋外でできるグランドゴルフ、ペタンクなど交流試合を春秋2回実施予定、ラジオ体操は月～土毎日実施したい。

○民生委員児童委員協議会

高齢者の安否確認は面談が基本だが、電話やメール、手紙などでも行っていく、訪問の場合は玄関ドアを開け距離をとって行っている。以前のように安否確認は、年3回実施していきたい。民生委員同士のZoom等の利用を進め、今後はリモートでも訪問ができるように研究していきたい。

○主任児童委員

コロナ禍で学校行事への参加が出来なかったが、情報交換は再開した、今後も継続したい。

○子育て連絡会

「親子ほっとサロン」は3年4月からようやく再開する。親子で遊べる場、子育て中のお母さんがほっとできる場所づくりを継続していきたい。身近な場所で講演会の実施があるのは大切なことなので今後も開催していきたい。

○保護司

保護観察対象者との面談は現在も電話となっている。観察対象者の話で、「自分はこれまで相談できる人が誰もいなかったため、自分だけで考えて行動したことを深く反省している」と言っていた。相談する人がいて、地域等とのつながりがあれば追いつめられることがなかったのではないかと、それぞれの人が認められ、相談できたり、共に活動できる場がここ（地区社協）にはあると感じている。

○更生保護女性会

近所の見守りは大切、孤独になると人は犯罪につながる社会を明るくする運動ミニ集会は絶対継続していきたい。

○スポーツ推進委員

コロナ禍で釜利谷公園の草刈りしかできなかったが、5月の世界トライアスロン、6月30日オリンピック聖火リレーの依頼が来た。

○ホイール若菜

障がい児のデイサービスに行く子どもたちが多いため登下校の支援の依頼がないが、地域でできる事をやっていきたい。

○ケアプラザ

地区社協の後方支援を中心に、地域での活動にも参加していきたい。

○連合町内会

4月21日連合総会、6月6日研修会、7月18日手子神社祭、9月20日敬老芸能大会など実施していきたい。

○地区社会福祉協議会

キャッチフレーズを変更したい。

広報誌「かまりや」の発行の継続、移動販売など継続していく。

新規事業として「ちょいボラによる地域の支え合い」、「多世代交流やボランティア活動の場づくり」を4期で検討・実施していきたい。